

ほけんだより 12月号

令和7年 11月 28日
北保育園

早いもので、今年もあと1か月となりました。忙しい年の瀬ですが、下痢や嘔吐、インフルエンザなどの感染症が流行するのもこの時期です。園では、こまめな手洗いや換気を行い、感染予防に努めてまいります。ご家庭でもお子さまの体調管理には十分な配慮をお願いします。



インフルエンザは、もとをたどるとすべてが鳥インフルエンザに行き着きます。というのも、インフルエンザウイルスは本来、カモやアヒルなど足に水かきのある水鳥、渡り鳥に感染するウイルスだからです。ただし私たちが腸管内に大腸菌を持っていたとしても病気にならないのと同じで、水鳥がインフルエンザウイルス感染で病気になることは基本的にありません。インフルエンザウイルスが数百万年もの長い間、水鳥へ感染し続けた結果、両者に共存関係ができたのです。

そうした水鳥や渡り鳥が放出する糞にはインフルエンザウイルスが含まれるため、水辺に放たれたウイルスはアヒルなど他の水鳥や渡り鳥に広がっていきます。

そこから、このウイルスが家畜として飼っている鳥類や豚などに感染し、動物種の間で感染を起こして変異を繰り返しながら、時に人に感染しやすいウイルスとなってインフルエンザの流行を引き起こしているのです。

インフルエンザウイルスは、ウイルスの構造の変化、変異を繰り返しながら、季節性インフルエンザとして、時に新型のインフルエンザとして人類の脅威となります。

日本感染症学会は「ワクチン接種と、手洗いや咳エチケットを心がけて」と呼びかけています。調子が悪い時は、無理せず医師の指示を仰ぎ、体をしっかり休めましょう。

◎インフルエンザになってしまったら・・・「発症後5日を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまでは出席停止」となります。医師の診断を受け保護者記入の登園届が必要です。

【11月の感染症】

伝染性紅斑（りんご病）	1名
インフルエンザ	5名
伝染性膿痂疹（とびひ）	1名



【12月の保健行事】

9(火)	身体測定	(幼児)
10(水)	身体測定	(乳児)
16(火)	0歳児健診	
17(水)	保健指導	(幼児)